

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)ネットヨタヤサカ(株)大久保店新築工事

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				全体
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q1 室内環境		3.7	0.15			3.7
1 音環境		3.0	0.40			
1.1 室内騒音レベル		4.4	0.40			
1.2 遮音		5.0	0.74			
1 開口部遮音性能		3.0	0.26			
2 界壁遮音性能						
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		4.0	0.20			
1.3 吸音		2.6	0.35			2.6
2 温熱環境		3.0	0.50			
2.1 室温制御		3.0	0.42			
1 室温		3.0	0.22			
2 外皮性能		3.0	0.36			
3 ゾーン別制御性		1.0	0.20			
2.2 湿度制御		3.0	0.30			
2.3 空調方式		3.3	0.25			
3 光・視環境		3.7	0.37			
3.1 昼光利用		5.0	0.39			
1 昼光率		3.0	0.61			
2 方位別開口		3.0	0.19			
3 昼光利用設備		3.0	1.00			
3.2 グレア対策		4.0	0.10			
1 昼光制御		3.0	0.34			
3.3 照度		4.6	0.25			
3.4 照明制御		5.0	0.50			
4 空気質環境		5.0	1.00			
4.1 発生源対策		4.6	0.30			
1 化学汚染物質		4.0	0.39			
4.2 換気		5.0	0.39			
1 換気量		4.0	0.20			
2 自然換気性能		3.0	0.50			
3 取り入れ外気への配慮		5.0	0.50			
4.3 運用管理						
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御			0.30			
Q2 サービス性能		3.9	0.40			3.9
1 機能性		3.0	0.40			
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.22			
1 広さ・収納性		3.0	0.57			
2 高度情報通信設備対応		4.6	0.30			
3 バリアフリー計画		5.0	0.33	4.0		
1.2 心理性・快適性		4.0	0.33			
1 広さ感・景観		5.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		4.5	0.30			
3 内装計画		5.0	0.50			
1.3 維持管理		4.0	0.50			
1 維持管理に配慮した設計		4.1	0.30			
2 維持管理用機能の確保						
2 耐用性・信頼性		4.6	0.50			
2.1 耐震・免震・制震・制振		5.0	0.80			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.20			
2 免震・制震・制振性能		4.0	0.30			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.0	0.20			
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.10			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		5.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		5.0	0.20			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.2	0.20			
2.4 信頼性		3.0	0.20			
1 空調・換気設備		2.0	0.20			
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20			
3 電気設備		3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法		5.0	0.20			
5 通信・情報設備						

3 対応性・更新性			4.1	0.30	-	-	4.1
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり		階高5.5m以上	5.0	0.60	-	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率<0.1	5.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり		積載荷重床用3500KN/m ² 以上	4.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.6	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性		ケーブルラック	5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性		ケーブルラック	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		重要設備のメンテナンス時に機能が維持できる設計としている	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.36	-	-	3.7
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		外装において周辺のまちなみに配慮している	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		建物利用者が設計プロセスに参加、運用管理に参加している	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制			1.0	0.07	-	-	1.0
2 自然エネルギー利用		太陽光パネルの設置	4.0	0.12	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.92	2.4	0.58	-	-	2.4
4 効率的運用			3.0	0.23	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.60	-	-	4.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		地域産木材 岩綿吸音板 塩ビシート	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		造作家具で持続可能な木材を使用	5.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能 LGS	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.9	0.20	-	-	3.9
3.1 有害物質を含まない材料の使用		床材用接着剤、防水工事プライマー、ガラス用シーリング、壁塗料	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.5	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		ODP=0かつ、GWPが低い発泡剤を用いた断熱材等を使用している	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出量削減に配慮	3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		雨水浸透槽をと浸透側溝を設置	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		適切な量の駐車スペースの設置	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		既存を参考にし。ゴミ庫を計画	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害チェックリストの項目の過半を満たし広告物照明無し	5.0	0.70	-	-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	